

信  
通

## ◎東京だより

田中生



蕭瑟、屋外に泣く蟲の音も物淋しき秋と相成、此物靜けき自然界に反して政界は益々多事を加へ申候、協調破裂後の單獨内閣が来るべき議會を如何にして切抜くべきかは吾人をして多大の好奇心を煽らしめ、或は憲本の協調或は政本の合同と噂は夫れから夫れへと傳へられ居候、後者にて若し成立するか又は對議會策に付妥協すとせば議會は當然解散を免れざるべく、若し又成立せずとせば假令憲本の協調を觀ずとも事なきを暗示致候、併しながら政府與黨も

在野黨も言はずこそすれ解散を恐るゝ點に於ては同一に有之、政友會は從來の行き懸り上解散を覺悟せざるべからざる處に候得共、解散をして有意義ならしむるには這般の申合せに基き政友本黨と協調するに越したことは無之、政府與黨にしても亦本黨が反政府の態度に出でざる限りは解散を避け得る所なるを以て、政本の提携を妨止する策を探るべく、政府與黨と政友會とが何とかして自黨の利益の爲に本黨を引張ることに焦るは已むを得ざることゝ被存結局本

黨の向背如何か政界の安否を握ること、相成候。

政友本黨内には政本合同論者と非合同論者と憲本合同論者の三派が存在して、常に自己意見の宣傳を爲し世人をして黨内の結束を疑はしむこと不妙此弱點に附け込むで政憲兩派の晝策頻りに行はれ爲に政局の豫断を許さざる處に有之候處、最近床次總裁の聲明に依つて同黨が在野黨としての權威を發揚し、主

義主張に依つて公明に

進退すべきこと明かと

相成、之に依るときは

到底憲本の合同が成立

するの見込無之、又主

義主張の相違ある政本

の合同も困難なること

を暗示し、現今の儘を

以て議會に臨むこと、

相成候は吾人本黨將來

### ○歐 より 米 へ

大西洋上アキタニア號にて

三 浦 七 郎

存候。

来るべき議會に於ける重要案件は政憲兩派協調破裂の因を爲したる税制整理に

關する問題に有之、政府與黨が政府原案を維持するは言を俟たざる所なるを以て此問題は結局政本兩黨の原案に對する意見如何に依つて解決すべきものに有之

田中編輯足下

昨日の夕方八時佛國の港シエーブールを出帆愈米國に向ひ候、昨年の八月三十日マルセイユに上陸して満一年を経過し、此思出多き歐洲を離るゝに及んで感慨無量なるもの有之候、英佛獨に滯在し其の間小國を通過し親しく述べ難巴文明に接して我日本の夫れを想ふとき今更ながら文化程度の隔絶甚しきを痛歎致候、此船は英國に國籍を有する船だけに昔通りの窮屈な手續を爲さなければならず、英國が既に窮屈の文明を過ぎて今や燈火の消へんとする刹那の光に過ぎないことを現はして居る様に被存、中產階級の亡びた大英國の末路は實に悲惨なものと被考、我國も亦日を逐ふて此運命に近づかむとしつゝあるに非ざ

候、然るに兩黨の之に關する意見は種々に報道され何れも黨議として決定したるもの無之に付、今日彼は論議するは聊か早計の感有之候得共、兩黨の幹部案に依つて觀るときは、政府の原案と本黨案とは甚しき逕庭無之、補完稅たる地租及營業稅の外新に資本利子稅を創設して之に配し、所得稅營業稅及相續稅の最低限度を引上げ其の他消費稅を整理すること等に就ては大體同一にして假令些少なる點に於て相異するも一致點を求むるに可能性を存し、唯だ政府案と異なる所は所得稅中第二種所得稅を廢止して之を第三種に綜合し、地租の課稅標準を賃貸價格に依ることに反對し、地租の小地主免稅の標準を一は地價に求むるに反

るかと被察候、併しながら未だ一度も文明の絶頂に達せずしてその慘状を招くことも無かるべくと被存一縷の望を囁き居申候。

地中海は大分に荒れ今日は朝から食堂に出ない人も澤山に有之候。同船の日本人は六人其の他は全部亞米利加人ばかりにして何となく嫌な心地致候得共、歐洲に居た御蔭で故國に居て彼等を懐か感と異り僕等が寧ろ優者の地位に在る如くに存候、彼等は全世界を英語で支配する様に心得居候得共、實際巴里滯在のときの如きは僕等の方が却つて言葉が出來、彼等の困却せる狀を見受け申候、定めし同船の亞米利加人も英語使用の範圍の餘り狹きに呆れ歸國するものならむと被察憐憫の情に堪難候。

健全な貴兄の顔を見るのも後二ヶ月と相成、何となく愉快に不堪候若し貴兄の顔が曇つて居れば我國路政も亦振つて居ないものと覺悟して横濱埠頭の會見を夢み居候。

敬白

し一は自作農に探ることに於て一致せざる位に有之候、反之政友會案は地租を明年度より市町村に委譲し其の委譲に依つて生ずる歳入缺陷七千四百萬圓は行政整理に依つて得た恒久財源六千八百萬圓と關稅の增收に依つて支辨し行政整理に依る六千八百萬圓が充當されつゝある震災の復舊費を公債を以て支辨せむとするものに有之、本黨の意見と甚しき逕庭有之候此點に關し兩黨の態度が觀ものにして之が結局政界の安否を決する鍵に有之候、併しながら地租を委譲するや否やの根本問題に關し意見を異にする以上は兩者妥協の餘地なきものと觀るを至當とすべく、然らば政友會が力説する委譲問題は否決されて結局論争の種を失ふこと、相成、政府原案と本黨案の相異

は互譲協定の餘地あるを以て之を成立せしめなば結局議會の解散を免るゝを得べく、開會中突發事件の發生せざる限り解散を免るゝことゝ存候。

政機熟したるとき議政壇場たるべき貴榮兩院の建物が燒失致候、當時吾人は此猛火を眺め將來を想ふて暗懸たるもの有之候處、出火の原因漸く判明して聊か意を慰め候得共、白晝に此大火を觀るが如きは稀有の事例に有之、併かも消防を統裁する警視廳の附近に於て此事ありしは返すゞ々も遺憾とする所に御座候、此時吾人は非常召集の命令を受けたる消防自動車の操縦を實觀したるに、自動車が現場に急行せむとするも道路劣悪なるが爲に操縦意の如く爲らざるものゝ如く、消防車は波浪に弄ばるゝ小舟の如き有様にして、之が爲消火が遅れたるに非ざるかとも被存、善良なる道路の必要を痛切に感じ申候、建物焼失に依る損害の如きは餘り言ふに足らざる所に候得共、之が爲に議政の言論をして不十分ならしめ議員の行動を不自由ならしむるが如きこと有之候ては夫れこそ多大の損失と言はざるべから

ず候、幸にして假建築に着手する趣に付叙上の缺陷なき様計畫の十全を祈り候。

前號に於て報道致候通り地方長官の交迭は隨分廣い範圍に亘つて行はれ聊か意想外に出て申候得共、亦其の遣り方も意想外に出て、不徹底の感有之候、之を難ずるものは憲政會が來るべき議會の解散に備ふるが爲の豫備的行爲にして選舉干渉の前提なりと申居候、或は又今回の交迭が不徹底なるは憲本合同の下準備として政友本黨系に屬する地方長官を特に交迭馘首せざりしものなりと申居候、併しながらいつも申上候通り地方自治を政黨化するものにして賞揚すべきことには無之候得共、評者が構成したる内閣に於ても矢張り同様露骨な交迭を斷行し世上批難を受けたることも有之候に付扱はれた政治の行はるゝ今の世の一現象として觀察するの已むべからざることゝ被存今之内閣にのみ之を責むるは得手勝手の議論と可申、又論者の言ふが如く假令官吏の選舉干渉が行はるゝとするも舊選舉法時代の如き効果

あるものに無之却つて、干渉の聲に反感を受け想はざる結果を惹起するに至るは見易きことに御座候に付餘り頭痛に病むの必要もなかるべきかと被考候、地方長官交迭の正否に關する理論敘上の如くなるを以て世上に所謂政友本黨系と稱せらるゝ地方長官を異動せしめざりしは、政治的色彩を以て地方長官を觀る從來の誤つた遣り方を幾分なりとも矯正したるものとして、寧ろ交迭の結果を質揚すべく責むべきことに非ずと存候。

此交迭の爲に内務省よりも二局長が地方長官に轉じ候、聞く所に依れば由來局長の位地に在るものは餘り地方に出たること無之、爲に理想やら理論に偏するの嫌有之、從來より批難ありし所なるを以て、今回は此批難に聽きて比較的永年内務省に位を占めた佐上堀切兩局長を地方長官たらしめたる趣に有之、その動機にして不純ならずとせば從來の方針を變更したるものとして必ずしも咎むべきに非ずと存候。

佐上堀切兩氏のことにつては別途K・T生の詳論する所

に付茲には省略可致、唯だ路政に最も緊密の關係を有する土木局長に次田大三郎氏を迎へたることは、今回の異動中に於ける秀逸事として其の人選の適當なることを賞揚可致候、幸に閑暇を得て内務省土木局を訪へば某々屬官の如きは次田氏の來局に雀躍致居候位に有之、殊に道路行政に關係ある者は一層燥き居候に付其の理由を質せば、氏が十年前同局に道路課長として在任せられたるを以て路政の執行に諒解あることとの由に御座候、加之氏が茨城縣知事時代には地方道路に適應したる簡易鋪裝の計畫を樹て、之が準備として各所に試驗鋪裝を施し同縣道路の路面に一新面目を施さむとし、古來橋梁の設備なく議會の開かるゝ毎に架橋の請願に接した利根川筋取手吾孫子間に架橋の大計畫を樹てたるが如き事蹟を以てするときは道路關係者の喜ぶ所もさうと思はれ申候。近時道路改良費豫算の十分ならざるよりして、前途を著しく悲觀し聊もすれば消極論に傾くの嫌あるの秋、積極的手腕の持主たる氏を迎へたることは獨り道路關係者の喜びに止まらず、我國路政の爲に吾人の欣

快を禁し能はざる所に御座候、由來土木局は他局と異り其所管事業は道路港灣治水等の廣き範圍に亘り、是等事業の監督と一方事業官廳として直接施行に屬する土木事業渺なからず、従つて之が豫算は内務豫算中の大部分を占め、又是等事業に從事する者は老大技術家を始め、技師技手其他雇員等を合するときは兎く一省を設けて處理するも尙ほ且つ足らざるの大局に有之候、此局に長として是を統御し是等の者をして喜で事業事務に精勵せしむることは人格の高潔と手腕の冴へたる人に非ざれば兎くする能はざる處に有之候、氏が高潔なる人格の所有者なることは世既に定評の存する所、所信の斷行者なることは氏の寡言に微して疑なき所に御座候、加之叙上の事蹟とを以てするときは名土木局長を得たりと申すべく吾人の欣快は一片の阿諛的譯辭に非ざることを立證して餘りある義と存候、今や治水政策の改造を急務とし港灣行政の統一を必要とするとき、此人を得たる我國斯業界は多幸と可申候、或は消極的政策を探用する現内閣の下に此の如き大業を注文するは無理の如く

に候得共、その遣り方如何に依りては沈滯せる我が土木行政を活躍せしむること必ずしも不可能事に非ざるかと存候に付此難局を開闢され誰かゝ言つた「夜の明けた感」を與へられむことを切望する次第に御座候。

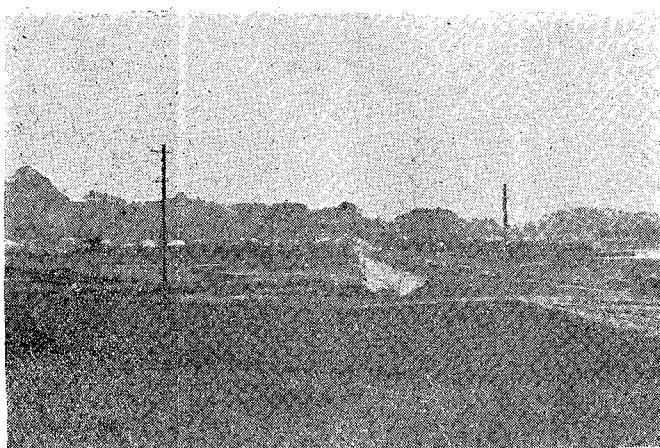
本會幹事松本學氏が佐上氏の後を襲つて神社局長に榮轉されしは氏の手腕の然らしめし處に有之、吾人は大杯を舉げて其の前途を祝福するものに御座候、氏が佐上氏の後を襲つて土木局道路課長と爲り其の在勤中は本會幹事として會務の爲に奔走され、山陽道路改良計畫の樹立に就ては日夜調査に從事され、遂に成案を得るに至りたるも氏に負ふ所不勝感謝の至に不堪候、氏は本會の如き團體が國務執行の助勢機關として多大の効果あるを認め港灣課長在職中は港灣協會の創立に力を致され、遂に同協會今日の盛況を觀るに至りしは全く氏の力に依るものと言ふも過言に無之、土木局在職記念として多大の土産を置かれたるは吾人の感謝する所、神社局長としても亦多大の成績を擧げらることは期して疑はざる所に御座候、唯だ吾人が氏に切望する所

のものは神社が我國民の唯一崇拜物なるよりして、之を管理する者が往々にして神意に反したる横暴を逞し、公共事業の施設を妨ぐるの舉あることを抑制矯正せられることに有之候。

復興局の一部改造行はれ現閣が復興事業の促進に力むる方針も明かと相成候、本事業の促進を圖るが爲には官吏々員の交迭を行つて人心を一新するの要も可有之候得共、それより尙急務とすることは特別都市計畫法を改正して一部有資産者の我利を抑制することの極めて必要なることは前號所論の通に有之、現閣が事業促進を必要とする以上は何れ此改正も行はるべく吾人の満足する所に御座候、新長官清野長太郎氏は有名なる敏腕の人、吾人も亦昔氏の麾下に職を探り氏が事業家として非凡の手腕家たることは世評と共に是認する所に有之候、或者は氏が永年の浪人生活に老衰して昔の清野氏に非ざることを傳へ候得共、一度氏の聲咳に接して事業執行に關する方針を聞くときは遂行の確信肩宇の間に窺はれ、良長官の名を博したる兵庫縣時代と毫

も異なる所なく否な夫れ以上に瀟灑たる英氣あるを見へ、評者の言が當らざる皮想の見たることを確め申候、道途傳ふる所に依れば從來技術官を以て充てられたる部長所長の制度を改正して事務官を以て之に充つる計畫ある趣に有之、整地事業の爲に法律問題が頻出して之が解決を要する現時の執務上の要求よりするときは至極適切なる計畫と被存候、之が爲に技術家を輕視し向上を阻止するものなりとし、若し之を斷行するに於ては技術家は連袂辭職するものゝ如く傳居候、併しながら部所長に技術官を以て充つるか事務官を以てするかは執務上に於ける便否の問題に有之事務官を以て充つることが適當なりとせば方針を變更する固より當然の事に屬し、是を以て技術家を輕視したりと爲するが如きは誤解と可申、一般の官吏が常に連袂辭職を口にするも、いざ土俵際に差迫れば泣きやみと爲る常態に付是等技術官の聲に聞くの必要もなかるべくと存候間、事の便否に鑑みて交迭を斷行し一に復興事業の促進に力められ度、切に新長官の英斷を祈る次第に御座候。

近時大雨頻に來り各地の被害夥しきもの有之、被害地方十五府縣の廣きに亘り土木工事の被害にして國庫補助の申



道國號一十三き近成完

況狀事工路道内地村浦六郡三縣川奈神

(尺三十三幅路)

請を爲したるもの千六十五萬圓に上り、補助の申請を爲さ

ざるものと合すときは約三千萬圓の巨額に達する趣に有之候、土木工事のみの被害にして此の巨額を算することに稽ふるときは、地方農產業の受けたる被害は其の數何億に達するや難計候、之を想はゞ治水事業の緩にすべからざるを痛感し、徒に消極政策の爲に是等事業豫算の減額を圖らむとするは「一文惜ミノ百知ラス」の感有之候、之と同様の感を深くするものは現時の災害土木費國庫補助の制度に有之候、同制度に於ける復舊工事は罹災前の原形に復することを以て原則と爲すが故に、地方は此原則に依つて土木工事を計畫し完成するの結果、同一の出水に際會せば又破壊され、是を亦原形に復し以て能事終れりと爲すこと、宛然賽の河原の石積みに外ならず候。復舊工事を計畫するに方つては被害の原因たる出水の水位以上のものを標準として將來に備ふることを必要とするに拘はらず尙之を爲さずして復舊竣れりと爲すが如きは吾人の採らざる所に御座候、或は復舊工事の計畫は吾人所論の如くなるも唯だ國庫が之に對して補助を爲さざるまでなりと論ずる人も有之候

得共、災害國庫補助の制度が地方財政援助の下に「存在する純理性」を有するものなる以上は其の説の採るべからざるや明かに御座候間從來の方針を一擲して再び被害を受くることなき復舊工事の完成に力むる様當局の参考を促す次第に御座候。

いつも本紙に筆する東京市道路問題も相變らす市巷間攻撃の的と相成居候得共、從來の方針を改め着々鋪裝工事の進捗を圖り居候に付其の攻撃も今暫くのことゝ被考、又兎角の批難を受けたる施工方法に就ても牧博士の入局に依りて從來の缺點を發見したる趣に付、近時施工する木塊鋪装の如きは面目を一新することゝ被存候、併しながら經費の關係に抑制されて燒失區域外に於ける全部の道路を理想的に鋪装することは目下の處不可能の狀態に在るを以て、從來樹てられたる鋪装計畫外に屬するものにして比較的重要なるものを選擇し簡易の方法に依りて鋪装するの外更に進むで道路の局部的改良に着手する趣に有之、是等事業の完成に依りて多年の懸案も一段落を告ぐること、可相成候、

助を得ざるときは國家が補助を爲さるが故に事業に着手するを得ずとし、宛然他人の事業の如き態度を探る如きは吾人の贅せざる所に御座候、併し折角計畫されたるものなるが故に今は其の實現を期し徒に大風呂敷を擡げたに止まるが如きことなき様當局の努力を願ふ次第に御座候。

東京市道路に付想起するは局長牧博士のこと御座候、博士が入局して大に手腕を振はんとするや、不幸にして持病たる眼疾の爲に慶應醫科に入院し、居ること數月手術を受けたるも思はしからず、今は更に轉じて河本病院に在つて一眼を潰滅せざるべからざるの悲境に在りて寃に同情に堪へざる處に御座候、記者一日同病院に博士を訪はゞ數月の入院にも餘り寝れたる様子も無之、例の調子にて一眼潰滅の已むべからざるを述べ、假令獨眼と爲るも公的生活に何等支障なきを告げ、殘眼の壽命は此後十年間保持し得るを以て、此十年間に自分として儘すべき事業を爲し遂げ足る、若し夫れ失明後に至つては古人の例に倣ひ、天下を行脚して道路の改良に儘す一途あるのみと申居候、吾人此

言を聞き此人にして始めて此覺悟あるかと博士の高潔なる人格と將來とを思ふて涙を流し申候、然るに何者の痴漢ぞや近時市内道路の不良と病狀とを相干連せしめて博士の隠退を宣傳する者あり、是等は思はざるの甚しきものにして爲にせむとするものゝ所爲と可申、讀者各位が此宣傳に誤らざらむことを切望し、博士が一日も早く退院して再び我路政に付論議する日の到るを鶴首待つゝとし是にて擲筆致候。

敬具